

常翔学園 広島国際大学 学長室企画課

〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36

TEL 0823-70-4922 FAX 0823-70-4931

2010年11月4日(木)

## 広島国際大学 2010年度公開講座‘咲楽塾’

### 第10回市民福祉公開講座・大学院医療福祉学専攻セミナー

# 「介護福祉の国際化を考えるシンポジウム」 ～経済連携協定によるフィリピン人介護福祉士候補者の 施設受入れから1年を振り返る～

広島で日本語研修を受けたフィリピン人介護福祉士候補者の受入れ施設の教育担当者の方々にお集まりいただき、それぞれの施設での受入れ体制、日本語・介護福祉教育、生活支援についてお話をうかがい、介護福祉の現場へ外国人を迎え入れることの課題について学びたいと思います。

また、介護福祉士の国際化の現状を市民のみなさんに広く知っていただくとともに、外国人職員受入れ施設の担当者間で連携をはかりたいと思います。

日程につきましては以下のとおりです。

◎日 時 : 2010年11月27日(土) 13:00～17:00

◎場 所 : 広島県社会福祉会館講堂  
(〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2)

◎対象者 : 一般

◎定 員 : 150名 【事前申込要】

◎ 参加費 : 無 料

添付資料 開催案内

以 上

この件に関するお問い合わせ先

広島国際大学 医療福祉学部 渡辺(ワタナベ)までお願いいたします。

TEL: 0823-70-4611 FAX: 0823-70-4612

上記リリースに関する資料は <http://www.hirokoku-u.ac.jp/>にUPされております。

発信枚数: 本書含め3枚

# 介護福祉の国際化を考えるシンポジウム

～経済連携協定によるフィリピン人介護福祉士候補者の施設受入れから1年を振り返る～

日時: 2010年11月27日(土) 13:00～17:00

場所: 広島県社会福祉会館講堂(広島市南区比治山本町12-2)

<http://www.hiroshima-fukushi.net/>

企画: 介護福祉の国際化研究会・ひろしま(MCW-Hiroshima)

主催: 広島国際大学医療福祉学部

参加費: 無料

## <シンポジウムの趣旨>

2008年から始まったインドネシアおよびフィリピンとの経済連携協定による介護福祉士候補者の受入れにより、介護福祉の現場が急激に国際化しています。受入れの現場では日本人職員と外国人職員との学びの相乗効果が見られる半面、外国人職員を抱える施設では外国人職員の日本語と介護福祉士国家試験対策の教育に加え、彼らの定着・生活支援といった課題にも直面しています。

私ども「介護福祉の国際化研究会・ひろしま」では、2009年来日したフィリピン人介護福祉士候補者のうち広島で日本語研修を受けた49人のみなさんと、日本語研修中に広島国際大学学生との交流会を企画したり、日本人とのつきあいかたのワークショップのお手伝いをするといった関わりを続け、今年8月には中国地方の施設に派遣されたみなさんを訪問し、施設派遣後の定着や学習の課題について聞き取り調査を行いました。

この11月で、彼らが介護の現場に出てちょうど1年になります。このシンポジウムでは、広島で日本語研修を受けたフィリピン人介護福祉士候補者の受入れ施設の教育担当者の方々にお集まりいただき、それぞれの施設での受入れ体制、日本語・介護福祉教育、生活支援についてお話をうかがい、介護福祉の現場へ外国人を迎え入れることの課題について学びたいと思います。

このようなシンポジウムは広島および中国地方では初めての企画です。介護福祉の国際化の現状を市民のみなさんに広く知っていただくとともに、外国人職員受入れ施設の担当者間における連携の機会とすることができれば幸いです。ぜひ、ご参加ください。

## <プログラム>

開会挨拶 広島国際大学医療福祉学部長 岡崎仁史

13:00～14:30 シンポジウム1 日本語と介護福祉教育 (報告20分+質疑応答10分)

高濱一宇さん 社会福祉法人健祥会・徳島健祥会福祉専門学校

曾根清美さん・縄稚絵里香さん 社会医療法人社団沼南会・介護老人保健施設ぬまくま

井本拓海さん 社会福祉法人暁会・特別養護老人ホームフェニックス

14:30～15:00 コーヒーブレイク・交流会

15:00～16:30 シンポジウム2 受入れ体制と生活支援 (報告20分+質疑応答10分)

伊吹圭貴さん 医療法人茜会・昭和病院

伊吹宇智さん 社会福祉法人暁会・特別養護老人ホームフェニックス

唯保咲子さん・三宅宏司さん 社会福祉法人みぶ福祉会/医療法人明和会

16:30～17:00 全体討論

17:30～20:00 懇親会(希望者のみ)

## <問い合わせ・参加申し込み>

介護福祉の国際化研究会・ひろしま

事務局 〒739-2695広島県東広島市黒瀬学園台555-36

広島国際大学医療福祉学部 渡辺晴子 (h-wata@hw.hirokoku-u.ac.jp)

シンポ実行委員長 広島国際大学医療福祉学部 矢原隆行 (t-yahara@hw.hirokoku.ac.jp)

シンポ企画委員 広島国際学院大学現代社会学部 高畑幸 (s.takahata@hkg.ac.jp)

シンポ企画委員 広島国際大学医療福祉学部 八木裕子 (y-yagi@hw.hirokoku-u.ac.jp)

\* 会場の定員は150名です。準備の都合上、参加希望の方は「お名前・ご所属」を明記の上、「介護福祉の国際化シンポ参加希望」と書いて、「広島国際大学医療福祉学部・渡辺晴子研究室」あてにファックスで0823-70-4612へ送信してください。ご質問は上記の4人のいずれかへメールでお送りください。

## 報告者のご紹介

### シンポジウム1 日本語と介護福祉教育

- 高濱一字(たかはま・いちう)さん** 社会福祉法人健祥会・徳島健祥会福祉専門学校・主管  
熊本県出身。昭和45年徳島県高等学校教諭、平成16年3月徳島県立徳島商業高等学校校長で退職、4月より社会福祉法人健祥会に入社。ケアハウス・特養施設長を経て平成21年4月より現職。現在、学校では、フィリピン人の就学コース介護福祉士候補者を学生として受け入れると共に、グループの施設に配属されている就労コース候補者（インドネシア・フィリピン）の日本語教育指導を行っています。母国を離れ、決死の覚悟で研修・勉強に励んでいる真摯な姿を見ると、我が子のように「何とかしてやらなければ」との気持ちが湧いてきます。
- 曾根清美(そね・きよみ)さん** 社会医療法人社団沼南会・介護老人保健施設ぬまくま・副総師長(教育担当主任兼務)  
13年の臨床経験の後、14年間にわたり看護教育に携わっておりました。平成21年7月に当院へ副総師長として赴任し、併せて教育担当主任を任命され、フィリピン人候補者6名（看護師候補者3名を含む）の受け入れを担当しました。言葉の壁や文化・慣習の違いを懸念していましたが、頑張っている姿に励まされ、分け隔てない笑顔に救われています。私の趣味は、アロマセラピーと沢山の本に囲まれて珈琲を飲むこと。そして愛犬と過ごす時間が私の至福の時です。「飾らず、構えず、偏らず」を座右の銘とし、「人を大切にすること」を永遠の課題として生きております。
- 縄稚絵里香(なわち・えりか)さん** 社会医療法人社団沼南会・介護老人保健施設ぬまくま・介護支援専門員  
介護福祉士 介護福祉士養成実習指導者資格 オレンジアドバイザー  
福山暁の星栄養福祉専門学校卒業後、平成10年4月、当法人に入社。介護職を12年経験後、平成22年3月より介護支援専門員職に就いています。フィリピン人候補生に対して、同世代ならではのプライベートな話や冗談を交え、楽しみながら勉強できる環境を心掛けています。
- 井本拓海(いもと・たくみ)さん** 社会福祉法人暁会・特別養護老人ホームフェニックス・事務課  
生まれも育ちも山口県です。大学卒業後、塾の運営にたずさわり、その後、青年海外協力隊員としてアフリカに派遣されていました。平成22年4月より現在の施設に勤務しています。趣味は、映画や音楽、絵画を見ることです。入社前には、フィリピン人の研修生がいることも、EPAのことも知りませんでした。しかしながら、入社後すぐに、幸運にも研修生に関わる業務にたずさわることができました。研修生の人柄や仕事の評判も良いのですが、現場の方々の親切さ、熱心さ、それらがあるから、充実した時間を送れていると感じています。彼女たちだけでなく、現場の方々の期待にもそえるよう、自分を高めて周りのみなさんに貢献していきたいと思っています。

### シンポジウム2 受入れ体制と生活支援

- 伊吹圭貴(いぶき・よしたか)さん** 医療法人茜会・昭和病院・医療安全管理室 リスクマネージャー  
私自身、この病院で勤務しながら夜間の専門学校に通い、看護師の資格を取得しました。それまでは、医療業界とは違う、IT業界でシステムエンジニアをしておりました。今は、フィリピン人、インドネシア人、看護師、介護福祉士候補生を合わせて、13名の受け入れと生活支援を担当させていただいています。
- 伊吹宇智(いぶき・たかのり)さん** 社会福祉法人暁会・特別養護老人ホームフェニックス・事務課  
愛媛県松山市出身。某政府系金融機関勤務を経て、縁あって平成20年12月より当法人にて勤務しております。趣味はバドミントンで、気が付けば人生の半分以上を捧げています。生誕以来、日本国内から一度も出たことのない私ですが、研修生たちとの日々の関わりの中で、まだ見ぬ外国を感じ（たつもりになり）、必要に駆られて使うおかげか少しだけ英会話が上達し（たつもりになり）、他ではまず経験できないであろう貴重な仕事に携わることができる幸せを感じています。
- 唯保咲子(ただやす・さきこ)さん**  
社会福祉法人みぶ福祉会・特別養護老人ホーム正寿園・明和会グループEPAプロジェクトリーダー  
広島県山県郡川迫村（現在の北広島町）に生まれ、第一次ベビーブーム、いわゆる団塊の世代に該当します。広島赤十字・原爆病院、三原赤十字病院に看護師、看護部長として勤務し、その間、看護学生の教育、看護大学生の教育にあたり、国家試験受験支援を経験しました。平成18年3月退職後、平成19年1月より明和会グループにて職員の教育研修の企画に当たりました。平成20年11月、第1期インドネシア人介護福祉士候補者受け入れにあたり、受け入れプロジェクトが立ち上げられ、実務研修担当責任者となりました。一方、フィリピン人介護福祉士候補者の受け入れについては研修プログラム作成にかかわっています。現在は週1回2時間、「介護現場での日本語」を担当しています。学習は第2期インドネシア人介護福祉候補者2名と一緒にいき、後半には、それぞれの思いを言葉にするコーナーを設け、彼らからのサインを見のがさないように気をつけています。現在はまっていることは、仏像の由来を調べる、その仏像を訪ねることです。
- 三宅宏司(みやけ・ひろし)さん** 医療法人明和会・老人保健施設 あけぼの・介護統括主任  
広島県山県郡千代田町壬生（現在の北広島町）に生まれ、小学校から高校までは地元で、大学は山梨県の学校に進みました。中学から大学までバレーボール部に所属し学生生活をエンジョイしました。大学卒業後は広島に戻り、食品会社に就職し十数年勤めました。平成9年に縁あって老人保健施設あけぼのに就職し現在に至ります。趣味はスポーツ全般で、特にゴルフは大好きで、体の動く限り続けていきたいと思っています。平成21年11月にフィリピン人介護福祉士候補者を受け入れ、約一年が過ぎようとしています。本人たちから学ぶことも多く、互いに刺激し合いながら、そして、国家試験合格を目指して日々がんばっています。